

正 誤 表

下記のとおり、誤記がありましたので訂正いたします。

ページ	正	誤
<p>(参考資料(2)科学的 根拠 8-②) 4 3 ページ 4 行目</p>	<p>睡眠不足は、疲労や心身の健康リスクを上げるだけでなく、作業能率を低下させ、生産性の低下、事故やヒューマンエラーの危険性を高める可能性がある。健康成人を対象にした研究では、人間が十分に覚醒して作業を行うことが可能なのは起床後 12～13 時間が限界であり、起床後 15 時間以上では酒気帯び運転と同じ程度の作業能率まで低下することが示されている。</p>	<p>睡眠不足は、疲労や心身の健康リスクを上げるだけでなく、作業能率を低下させ、生産性の低下、事故やヒューマンエラーの危険性を高める可能性がある。健康成人を対象にした研究では、人間が十分に覚醒して作業を行うことが可能なのは起床後 12～13 時間が限界であり、起床後 15 時間以上では酒気帯び運転と同じ程度の作業能率、<u>起床後 17 時間を過ぎると飲酒運転と同じ作業能率</u>まで低下することが示されている。</p>
<p>(参考資料(4)文献 第 7 条) 7 5 ページ 1 3 行目</p>	<p>8.National Sleep Foundation. 2006 sleep in America poll. A National Sleep Foundation poll. 2006. <u>Washington DC: U.S. National Sleep Foundation, 2006</u></p>	<p>8.National Sleep Foundation. 2006 sleep in America poll. A National Sleep Foundation poll. 2006. <u>Available from: <www.sleepfoundation.org></u></p>